

令和7年度第2回名取市協働事業審査会会議録

- 1 日 時 令和7年10月16日(木)13時30分～15時00分
- 2 場 所 議会棟 第1・2委員会室
- 3 出席者 秋月委員長、奈良委員、太田委員、安倍委員、小松委員、山家委員
事務局：小平部長、浅野課長、佐藤課長補佐兼係長、八巻主幹兼係長、岩間主査、
森
- 欠席者 中島委員
- 4 会議概要 下記のとおり

<委嘱状交付 奈良委員>

- 1 開 会 進行：浅野課長
- 2 あいさつ 秋月委員長
- 3 審査説明
- 4 議 題
- ① 名取市協働提案事業の提案プレゼンテーション審査について
 - ② 名取市協働提案事業の集計結果並びに選定について
- 5 その他
- 6 閉 会

3 審査説明

事務局

本日の審査は、市民提案型と行政提案型の2種類の審査となります。予算の枠のしぼり等はなく、「協働提案事業」としてふさわしい事業を採択していただきたいと思います。

行政提案型のテーマにつきまして、青色のファイルの募集チラシをご覧ください。今年度は、「名取音頭普及・啓発事業」、「名取市民歌普及・啓発事業」、「サイクルスポーツセンターの利活用促進事業」、「震災復興伝承館を活用した事業」、「閑上地区かわまちづくり」による豊かな水辺環境利活用促進事業」の5つのテーマについて募集したところ、「震災復興伝承館を活用した事業」に対し、1団体から提案がありました。なお、各団体の要件審査は、事務局で事前確認を終えております。提案内容については、団体と協働する課、事務局の三者による話し合いを経て、協働が可能と合議されたものです。

次に審査会の進め方について説明します。

はじめに、提案プレゼンテーション審査について説明いたします。青色のファイルの実施要項をお開き願います。

4実施要項に基づき、応募のあった2団体による提案プレゼンテーションを行います。各団体入れ替え制により行い、1団体15分の持ち時間で、提案プレゼンテーション7分、質疑応答5分で進めてまいります。提案プレゼンテーションには、協働する課も同席いたします。

全てのプレゼンテーション後休憩をはさみ、次第の4選定に進みます。

最後に、審査方法について説明いたします。青色のファイルの審査基準と配布物の審査票をご覧ください。

審査方法は、審査基準オモテ面の一番下に記載のある【審査の視点】の①から⑤をもとに、5点満点として5段階で審査をお願いいたします。団体には、提案プレゼンテーションの中で審査の視点①から⑤については項目を立てて説明していただくようお願いしております。

委員個人の採点の結果が全ての項目において3点以上であれば採用、2点以下の項目が1つでもあれば要協議または不採用とし、1人でも要協議または不採用という採点をした委員がいれば、委員の皆さままで協議のうえ最終的なご判断をいただきたいと思います。

なお、記入後の審査票は、2団体すべてのプレゼン終了後に回収します。

以上、審査について説明を終わります。

4 議 題

① 名取市協働提案事業の提案プレゼンテーション審査について

<プレゼンテーション>

I 特定非営利活動法人女性起業相談室STEPなとり(協働する課:市民協働課)

当団体は令和4.3月に設立し、主に女性を中心に起業相談を行っている。昨年度は、協働提案事業担い手育成型の採択を受け市と協働で事業を行い、市役所内で起業相談等の事業を行った。当団体の強みは、メンバーが全員起業家であることから身近なロールモデルとなることができることである。

名取市は仙台に近いが、通勤等に時間がかかることで再就職が難しいことや名取市内で事務系の募集をしているところが少ないことなどで、再就職が難しいという声が多くある。起業というとハードルが高く感じるが、起業相談では、起業の“キ”の字から聞くことができるので、心理的ハードルを下げることができる。前年度の市と協働で起業相談を実施したことで「心理的ハードルを下げる」成果があった一方、「継続相談の場」へのニーズが顕在化していると感じたため、今回の提案となった。

事業は、起業前の初期段階から起業したけどまだ間もない方を対象に行う。事業構成は、①起業相談窓口、②起業初心者向けスタートアップセミナー、事後アンケートによるフォローアップ、③起業家交流会の三本柱を考えている。起業相談窓口は、昨年度の担い手育成型で3回行い、広報なとりを中心に募集をしたところすぐに満席となり、増枠して対応したことから、今回も継続して行いたい。②スタートアップセミナーは、今回初めての取り組みである。セミナーを3回連続で行い、最終的に一人でも活動できるようにしたいと考えている。そのために、一人一人にしっかりと対応するため定員を10名と少なく見積もっている。③起業家交流会は、昨年度の担い手育成型でも開催したが、セミナー後に開催したため45分と時間が短く、交流時間が足りなかったというアンケート結果があったので、今回は交流会だけで開催したいと考えている。交流会は、男女関係なく、既に起業している方やこれから起業する方のネットワーク構築を目的とし、託児サービスをシルバー人材センターにお願いして開催したいと考えている。

期待される効果は、起業への関心が高まり、新たなネットワークが生まれることだと考える。

費用計画は、託児スタッフの報償費が一番多く占めているが、最大人数で託児スタッフをお願いした金額となっており、託児の人数が減ると金額も変わると想定している。

協働によるメリットは、昨年度も広報からの申込が多くあったことから、広報で周知することで多くの人に認識されて、団体だけでは届かない層にも広めることができることである。

まとめですが、名取市と市民団体が連携することで、名取市内の地域ぐるみで起業を応援する仕組みづくりを作ることができると考え提案しました。

<質疑応答>

委員：具体的にどのような種類の起業相談があるのか。

団体：昨年度は趣味をかたちに起業をしたいという方が多く、ハンドメイドの趣味を生かしたプチ起業の相談があった。融資等伴う起業になると開業届などが必要となるため商工会を紹介するなど連携を図っている。

委員：具体的な広報の方法について教えていただきたい。

団体：広報なとりへの掲載や、市SNSや市HPで周知している。また、チラシを公民館等の市の関係施設に配布し、周知依頼をしている。

委員：昨年度の担い手育成型での事業では、起業相談が満席になったとのことであるが、市民からのニーズはあると捉えて良いか。

団体：市民からのニーズは高いと考えている。実際に昨年度実施した際は、予約開始からすぐに満席になり、キャンセル待ちの受付も行っていた。

Ⅱ 一般社団法人ふらむ名取（協働する課：商工観光課）

当法人は、平成29年に防災・減災意識の普及等を支援するために設立した。主に、防災講話と閑上地区に震災学習で来る小中学生に語り部を通して、閑上の教訓から防災減災を学び、命の大切さ・犠牲者なしの取り組みを13年続けている。

震災復興伝承館は、令和2年に開館し、震災前の閑上地住宅街のジオラマや、水圧ドア、水圧下駄の体験ができ、写真パネルでこれまでの歩みを見ることができる所である。

今回の事業は、震災復興伝承館を活用して、震災復興伝承館を知ってもらうとともに、防災から命を守り防災意識を高めるための防災ゲームや実技を通して、楽しく防災について学ぶワークショップを行いたいと考え、提案した。

震災復興伝承館は滞在時間が短く、利用者数が伸び悩んでおり、震災の風化が懸念される中で、施設の資料を生かし、防災を学ぶことで利用者の満足度を向上させ、伝承と防災意識を高めることを目的としている。

事業の内容は、震災復興伝承館での講話や防災ゲーム、また、閑上公民館での実技を行いたい。夏休み期間を利用して児童センター・小学校の子どもたちを対象に3回、親子を対象に2回行う。親子は、市内小学生中心の親子を募集する予定である。まず、防災ゲームは、災害時に必要とされるものを考え、幼児向け防災教育用カードゲームを使用し、得点を競うゲームである。例えば、この台風の絵の場合は、天気予報などの情報を得ることが大切なので、耳を立てるポーズを取る。このように災害についての絵があり、防災について遊びながら学ぶゲームである。また、防災に関するぬりえでは、災害時に必要な物を選び、色を塗り、リックサックに入れる物を想定するものです。これらのゲームの他、毛布で担架を体験したり、非常食作りなどを行い、防災について学び、防災意識を高める事業を行いたい。

成果としては、震災復興伝承館を知ってもらうとともに、防災意識を高めるきっかけづくりになると考えている。

防災教育を7月から9月まで実施し、その後アンケートのまとめをしたいと考えている。

<質疑応答>

委員：予算に書かれている、講師はどのような人を想定していますか。

団体：防災教育の市民団体「ゆりあげかもめ」代表の佐竹先生にお願いをしたいと思っている。

委員：収支計画書には、4回の実施で積算されているが、5回行う場合、予算の範囲内で行うことができるのか。また、人件費の積算根拠に記載されている8DのDとは何か。

団体：報償費及び旅費の積算が変更になるが、消耗品費で個数の調整ができるため問題なく、実施できると考えている。Dとは、Dayを意味しており、8日間のことである。

委員：震災復興伝承館の利用者増に向けて今までどのようなPRを行っていたのか。

協働する課：震災復興伝承館でも自主事業を行っている。また、映像コンテンツや、展示物を入れ替えて新しくしている。今後は、視覚でわかるようにタブレットやVRを導入するなど、震災復興伝承館のPRに向けて取り組んでいきたい。

4 議 題

以下、非公開

5 その他

<事務局からの連絡>

- 1、次回の審査会の開催につきまして、令和7年度実施した協働提案事業の実績報告会となります。
12月末までの事業実施期間ですので、12月の報告会を予定しております。時期が近づきましたら改めてご案内いたしますので、ご出席いただきますようお願いいたします。

6 閉 会

以上で令和7年度第2回名取市協働事業審査会を終了いたします。委員長はじめ、委員の皆さまお疲れ様でした。

令和7年10月31日

委員長

秋月 高太郎

